Ishi Datami

いしだたみ

長崎南高関西同窓会　会報

～２００６年　新春号～

新年ご挨拶

長崎南高関西同窓会
会長　大石　哲史（７回生）

関西同窓会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。去る１１月の総会にて新しく会長を拝命しました７回生の大石でございます。

昨年は、関西同窓会創立１５周年という節目を迎えた訳で、これまで同窓会の発展にご尽力いただいてきました諸先輩方、さらには会員の皆様方にはあらためて御礼申し上げます。そして、今年はいよいよ次の１５年に向け（ちょっと大げさかも知れませんが……この時は間違いなく私も引退している筈です）新しいデザインを描くべき大事な年ともいえ、新役員一同こころを一つにして活動してまいる所存です。

昨年は１回生そして今年は２回生がそれぞれ還暦を迎えられ、既に人生の次のステージに立たれた方も多数おられることと思います。世に所謂「同窓会年齢」というものがあるとするならば、特に数多くの男性諸氏におかれては定年という文字通りその適齢期に達せられた訳で、これまで以上に同窓会活動にご理解をいただき、会の活性化の推進力になっていただければと期待しております。

既に足掛け６年経過した『探鳥句会』には今や素人とは思えないメンバーの上達振り、俳句の魔力は実にすごいようです。また山歩き『ポラリスの会』も四季折々のおすすめビューポイントをせっせと踏破。やはり“先達はあらまほしきものなり”、着実に親睦の輪が拡がっています。

一方、そうは言っても、やはり若い世代の１人でも２人でも多くの方に同窓会にかかわって欲しいとの思いから、ＩＴオンチの事務局ではありますが、昨年の７月より念願のホームページを立ち上げた次第。更には、前号に続きお陰様にて会報誌『いしだたみ』も継続発刊にこぎつけることができました。そこで最後に会員の皆様方に切なるお願いをひとつ。昨年４月より個人情報保護法なるものが施行され善人（！？）の私としては、なんと世知辛い世の中になったことかと嘆息をもらす気分ではありますが、今やコンプライアンスは欠かせないもの。そんな中にあっても関西同窓会の一層の発展の為には卒業生名簿の充実はますます重要な課題、是非仲間達の消息情報がございましたら入会のおすすめをお願いしたいと存じます。あれもこれもやらねばと関西同窓会は生まれ変わったつもりでこの１年取組んでまいります。どうか皆様のご協力ご支援をお願い申しあげ、挨拶とさせていただきます。

２００６年１月

総会御礼

感謝！　感謝！　　幹事団を代表して

間渕　豊（６回生）

１１月１２日土曜日、一週間前の天気予報ではぐずつくとのことであったが、風はあるものの好天に恵まれ、まず太陽に感謝。

目標人数は大きく１００人とは言ったものの、役員、幹事団の皆様の努力で５０人を超す参加者となりました、感謝。廣瀬教頭先生、県事務所の島元主事、本部の浦川さん、東京の中村先輩、来賓の皆様方にも感謝。

大じゃんけん大会用に多くの賞品を提供頂いた方々（丸岡さん：新米５キロを滋賀からの持参は重たかったでしょう？　榎田さん：ご欠席にも拘らず郵送していただきました）、運良く賞品をゲットして寄付をして頂いた方々にまた感謝。

やや風が強く寒い中で、道案内に立ってくれた６回生の井上久さん、高草さん、岩崎さん、藤原さん、丸岡さん、中島さん、受付の木谷さん、賞品運搬の井上芳さんに感謝。情緒漂う会場とおいしいお酒と料理にも感謝。貴重な証拠写真撮影の５回生、吉田先輩には大感謝。

皆様で大変盛り上がって頂き、話し足りなかったのでしょう、２次会の参加率は８割を超えました。少し狭かったようですがお楽しみ頂けましたか？

ご案内が遅くなり、１回生の皆様にはご予定が重複しご参加頂けなかったことは残念でしたが、今年は還暦お祝い総会が予定されています。１、２回生の先輩諸氏の多数のご参加をお待ちしています。本年幹事の７回生、１４回生の皆様、何卒よろしくお願い致します。最後に、拙文をお読み頂く関西同窓会の皆様に感謝！感謝！

じゃんけん大会で盛り上がる参加者。ちなみに、左上端の「パー」の手が筆者

【報告】

「マぁーいっぺん盛り上がるばい」。２００５年１１月１２日（土）、神戸・旧居留地の会場で、第１５回の関西同窓会総会が開催されました。

まず総会では、会長あいさつ、会計・監査報告に続き、役員改選。そして、お待ちかね、乾杯を合図に懇親会がスタートしました。豪華賞品をめぐって大じゃんけん大会で盛り上がり、校歌斉唱＝**写真下**＝で締めくくりました。なお、この日に決まった新役員は下記の表の通りです。

会長	大石　哲史　（７回生）	新任
副会長	藤原由美子　（６回生）	〃
副会長	岩永和弘　（１３回生）	留任
会計	岡　涼子　（９回生）	〃
監査	木谷　荘一　（６回生）	新任
広報委員長	中村　博信　（１８回生）	新設
事務局長	金尾　義男　（１４回生）	新任
顧問	古川　源蔵　（１回生）	留任
顧問	松本　藤一　（２回生）	〃
顧問	間渕　豊　（６回生）	〃

同窓生便り①

還暦を迎えて

八尋　重義（１回生）

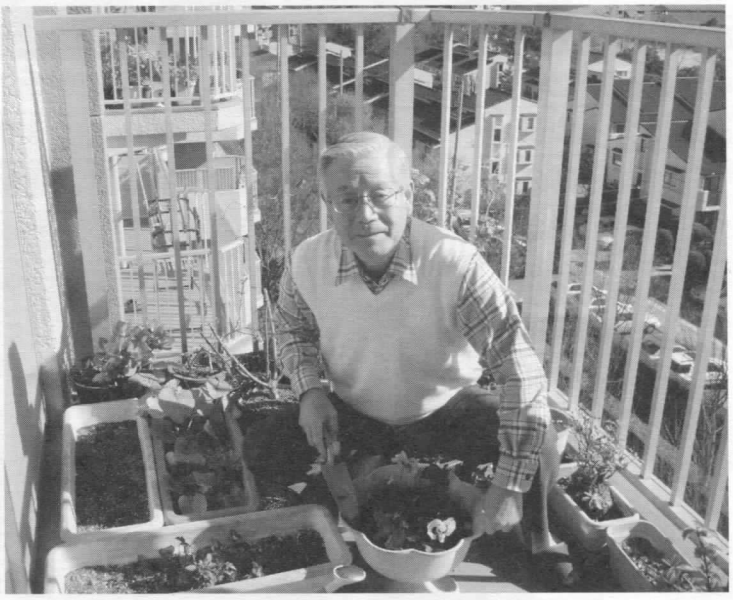
昭和３９年３月に南高を卒業した１回生は今年還暦を迎えた。

私も６月に満６０歳となり還暦を迎えた。家族から祝福を受け、子供たちからはお祝いの品物をもらい嬉しかった。

そして、会社からは定年退職の辞令を貰った。そう、サラリーマンにとって還暦は定年を確定させ、会社と決別する日なのである。３７年間会社人間で過した者にとってはやはり少し寂しい思いがした。

振り返れば会社生活は結構楽しかったし、まあ満足している。大学で保険学を専攻し、希望通り生命保険会社に就職し、職場にもめぐまれていた。入社の動機のひとつに長崎に支社があり、いずれ長崎に帰れるだろうという思いがあった。しかしながら勤務の大半が大阪・東京の本社部門が多く、毎年の自己申告書で長崎支社勤務を希望したがとうとう叶えられなかった。それだけが心残りであった。

退職の翌日から毎日が日曜日である。今までよく働いたので暫くはのんびりしてもいいだろうと思っている。念願の平日ゴルフにも行ったし、体がなまってはいけないので万歩計をつけて、近くの海岸や六甲山の中腹まで歩いているし、ベランダの花の手入れ等をして日々過している。



４月からはカルチャースクールに通い会社生活とは違う勉強をし、またボランティア活動もしたいと思っている。

ねんりんピックに参加しました

北名　幸男（２回生）
（片江）

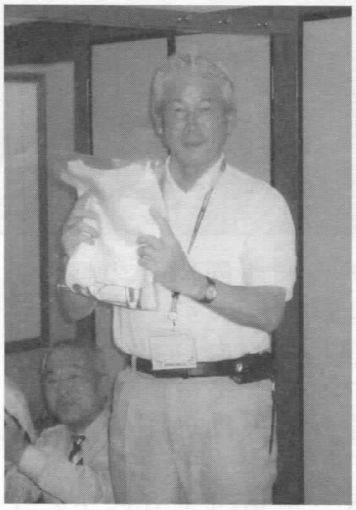
早いもので、大阪・桃山学院大学へ入学してから４０年間、関西での生活になります。いま神戸・三宮の山手で、時代の流れで、のんびりと呉服店をしております。昨年、娘が結婚し、長男は就職。ひと安心といったところですが、定年のない商売ですから、高３の次男が一人前になるまでは頑張らないと、という今日この頃です。

さて、神戸での初の関西同窓会総会、残念ながら、一番近所に住んでいながら欠席しました。「ねんりんピックふくおか２００５ラグビーフットボール交流大会」に出場したためです。後日の総会反省会に出席した折、大石会長よりぜひとの原稿依頼があり、ペンをとった次第です。

大会は福岡ドームで、常陸宮ご夫妻ご臨席のもと盛大に開会。立派な芝生のグラウンド、試合後の懇親会、学生時代の合宿を思い出す宿舎（ただし、お酒付き）等々、楽しい３日間でした。わが「芦屋楽惑ラグビークラブ」は高齢チーム賞をいただきました。

本当に、南高では学業に関する思い出はないのですが、ラグビーに出会えてよかったなと感謝しております。

最後になりましたが、山登りの会、みなさん親切な方ばかりで、とてもいい雰囲気でした。今後ともよろしくお付き合いお願いいたします。



"仲間たち"

同窓会の皆様にも、すっかりおなじみになった山登りの「ポラリス」。４回生の三宅博さんからのメッセージです

「ポラリス」と愉快な仲間達

一昨年１２月１２日、記念すべき日が始まった。

阪急芦屋川駅に７人の山男、山女がプロも顔負けの出で立ちで集まった。「目指すはロックガーデンを経て六甲山への初登山である」とリーダーは勝手に思いこみ、芦屋川を出発した。

颯爽と出かけたのは良かったが、ロックガーデンにさしかかる頃には「キツイ！」「ダマサレタ！」の連発。それでも騙し騙し昼食の場所へ辿りつく。缶ビール、唐揚げ、卵焼き、スープにおにぎり、締めくくりはブルースカイマウンテンコーヒー。緩んだ手綱は締め直しもきかず、お多福山を経由して下山。「下りが長過ぎる！」「バス停はまだか！」（登った分、下るのは当たり前ジャ）。

最後は、銭湯で汗を流し、居酒屋で打ち上げ式。疲れも吹き飛び、駄々をこねた顔もピンク色に染まり、和気あいあい。かくしてポラリスは始まったのです。

昨年１２月１０日に１周年を記念して、ハイク＆忘年会を行い、仲間意識がさらに深まったように思います。回を重ねるごとに新しいメンバーも増え、メーリングリストは２０名。２年目に向け新しい企画も考えながら、愉快な仲間と楽しんで行きたいと思います。

４回生　三宅　博

編集担当から

新年あけましておめでとうございます。

昨年の総会報告を兼ねて会報を発行いたしました。総会では役員も改選され、編集担当の小生も思いがけず新設の「広報委員長」を務めさせていただくことになりました。

立派（？）な肩書きに恥じないよう、微力ながら関西同窓会の盛り上げに貢献できればと思っています。よろしくお願いします。

なお、すでにホームページ（http://www.kansai-ishidatami.net）のことはご存じと思いますが、このホームページから会員情報の登録・変更ができます。ちょっと気が早いですが、春は異動の季節。お引っ越しなどありましたら、お忘れなく。

中村　博信（１８回生）